



# 西郷隆盛と 海洋国家薩摩

— 明治維新へ指宿が果たした役割 —

指宿市考古博物館

時遊館

JoJoJoはしむれ

特別企画展 展覧録

# 序章

## 西郷隆盛を作った海洋国家の視点

西郷隆盛は言わずと知れた明治維新の立役者です。西郷が大人物であったことは、勝海舟が「天下の大事を負担するものは、はたして西郷であるまいかと恐れた」と言ったことから明らかですが、明治維新は西郷一人の偉業ではありません。その背景には、江戸時代の鎖国体制下において日本で唯一琉球貿易口となり、「海の道」を手にした鹿児島藩の軍事力と経済力、そして、常に世界へ目を向けて国の将来像を描ける為政者の存在という藩の特質があったのです。

そして、西郷隆盛が活躍する背景を紐解くと、中世から国際貿易港として栄えた藩港「山川港」の重要性をはじめ、指宿が明治維新へ果たした重要な役割が浮かび上がってくるのです。

今から五十年前、近代国家日本誕生の夜明け前に奔走した郷土の偉人たちと、海洋国家薩摩の数奇な運命に、しばし思いを馳せていただければと存じます。

最後になりましたが、本展示会開催にあたりご協力いただきました関係者の皆様に、心より厚く御礼申し上げます。

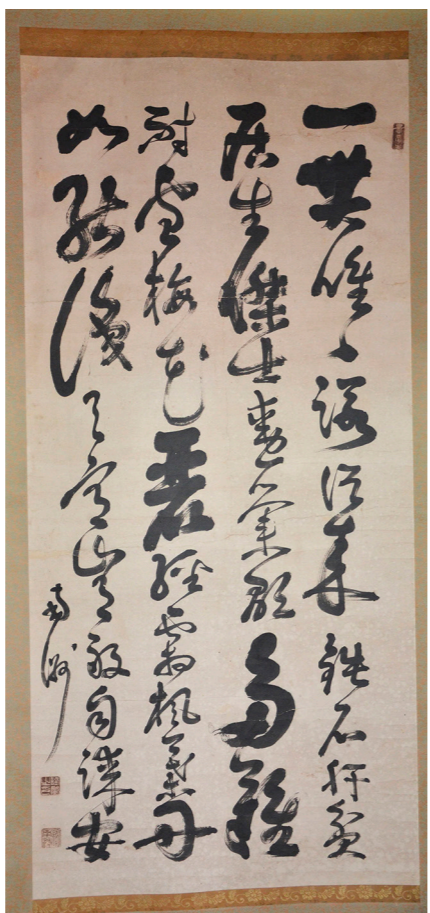
平成二十九年十月

指宿市考古博物館 時遊館COCOはしむれ

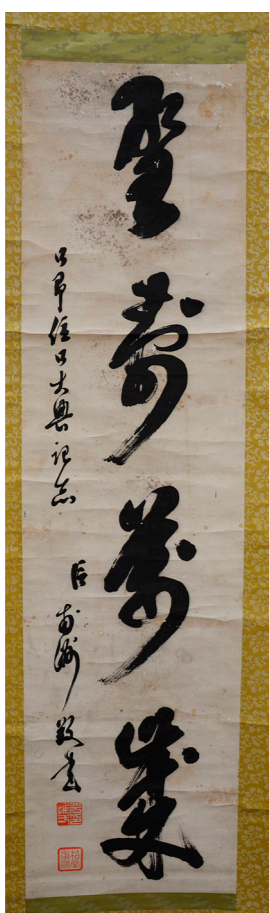
# 目次

第一章 山川港が支えた「海洋国家薩摩」	
第一節 「海の道」とアジア・西欧の交差点	1
第二節 琉球口貿易と鹿児島藩―鎖国下の玄関口―	5
第二章 薩摩「富国強兵」への道―海商たちの活躍―	
第一節 強国鹿児島藩の衰退	9
第二節 鹿児島藩復活への道	11
第三節 調所広郷の秘策「海の道」を利用した藩密貿易	13
第三章 世界の海を見据えた斉彬と西郷	
―明治維新へ、新しい国の形―	
第一節 島津斉彬が見据えた新たな海洋国家薩摩	23
第二節 島津斉彬と西郷隆盛との出会い	25
第三節 篤姫の徳川家入興と西郷	27
第四節 「順聖院様御深志」	30
第五節 明治維新へ、西郷飛翔のとき	
―新しい国の形、「真の海洋国家日本」への道―	
第四章 薩摩の数奇な運命と西郷	
第一節 遣韓論と西郷の下野	44
第二節 鰻温泉と西郷隆盛	45
第三節 西南戦争	47
大武進コレクシヨン 西南戦争と指宿	
―地域からの発信 地域への報告―	
第四節 海洋国家薩摩の数奇な運命と西郷隆盛	59

## 指宿市内に伝わる西郷隆盛直筆の書



伝 西郷隆盛直筆の書（個人蔵）



伝 西郷隆盛直筆の書（個人蔵）

―“海に親しむ” “海を知る”

“海を利用する” “海を守る” ―

海の学び  
ミュージアム  
サポート

Supported by  
日本財団  
THE NIPPON  
FOUNDATION

この企画展は 公益財団法人 日本海事科学振興財団  
船の科学館による「海の学び ミュージアムサポート」  
の助成を受けて開催したものです。



